

## 第7回 中部乳癌会議 Case3

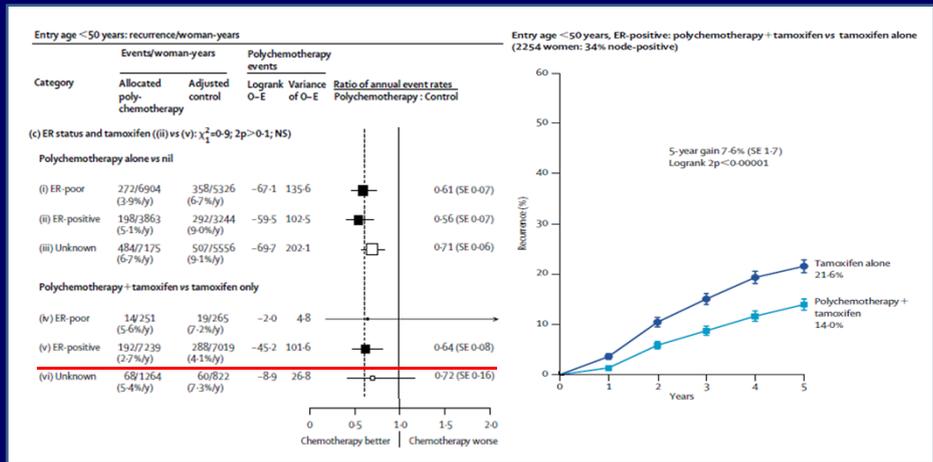
2011/3/6 C班

### Case 3

- 43 歳、閉経前、右乳癌(T1N0M0 stage I)でBp+SLNB 施行。術中SLN 転移陽性で郭清を追加した。
- 病理結果: invasive ductal carcinoma, IIa3, t=18 x 17 mm, HG:2, n:2/19, ly(+), V(-), ER:8,PgR:8, HER2:1+, Ki67=15%
- luminal A type 閉経前乳癌、n+の時に化学療法は必要か？
- B 班: LH-RH agonist + TAM
- C 班: 化学療法 + TAM(±LH-RH agonist)

# 化学療法は必要との立場から ～EBCTCGのメタアナリシス～

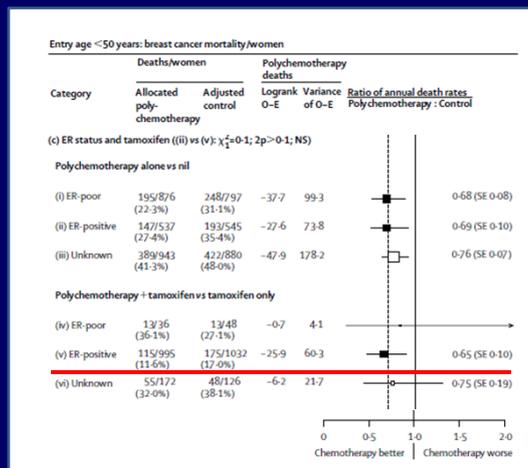
## 再発



Lancet 2005; 365: 1687-1717

# 化学療法は必要との立場から ～EBCTCGのメタアナリシス～

## 死亡



Lancet 2005; 365: 1687-1717

化学療法は必要との立場から  
 ～乳癌診療ガイドライン 薬物療法2010年版～

CQ-10:

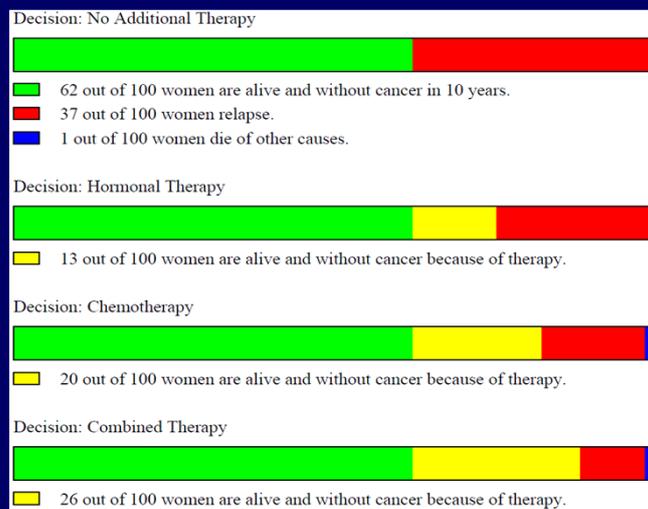
原発乳癌に対してアンストラサイクリンにタキサンを追加した術後化学療法は勧められるか？

推奨グレードA:

リンパ節転移陽性乳癌に対する術後療法としてアンストラサイクリンにタキサンを順次または同時併用することは強く勧められる。

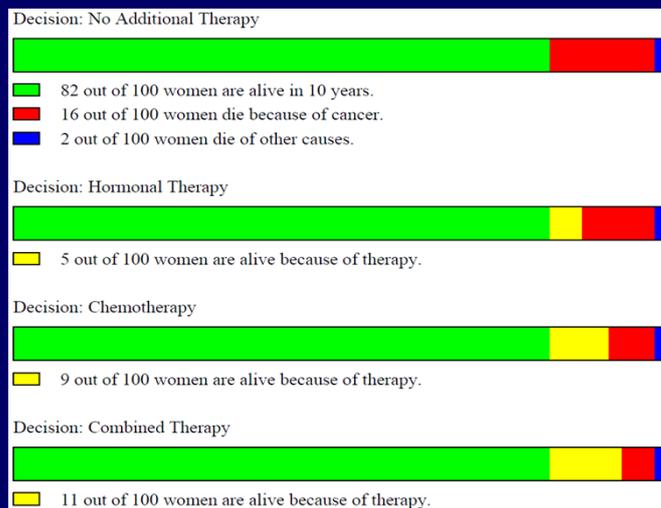
化学療法は必要との立場から  
 ～Adjuvant Online!～

再発(10年)



## 化学療法は必要との立場から ～Adjuvant Online!～

死亡(10年)



## 化学療法は必要との立場から ～Adjuvant Online!～

本症例において、ホルモン療法と化学療法の併用により

- 再発する37人中13人(35%)が、再発を免れる。
- 死亡する16人中6人(38%)が、死亡を免れる。

本症例では、  
化学療法の追加が必要である。

## まとめ

- EBCTCGのメタアナリシスで、ER陽性乳癌において化学療法の追加による再発率と死亡率の低下が示されている。
- 乳癌診療ガイドラインで、リンパ節転移陽性乳癌に対する化学療法が推奨されている(グレードA)。
- 本症例においては、Adjuvant Online!で、30%以上の再発率および死亡率における化学療法の追加効果が示されている。



本症例では、subtypeに依らず、化学療法の追加が必要である。